

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月26日

鳥取県知事 殿

提出者

住所 広島県広島市中区小町1-25

氏名 株式会社大林組広島支店

常務執行役員支店長 鹿毛重久

電話番号 082-242-5004

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大林組 広島支店
事業場の所在地	広島県広島市中区小町1-25
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1、2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙1、2のとおり

(管理体制図)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1、2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1、2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		別紙1、2のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「－」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成25年度)実績量  
計画：今年度(平成26年度)計画量

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自らの再生利用に関する事項		自らの中間処理に関する事項		自らの回収を行う産業廃棄物の量		自らの中間処理により減量する産業廃棄物の量		自らの埋立処分等に関する事項	
	排出量		自らの再生利用を行う産業廃棄物の量		自らの中間処理を行う産業廃棄物の量		自らの回収を行う産業廃棄物の量		自らの中間処理を行う産業廃棄物の量		自らの埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻												
汚泥	569			50								
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	11			5								
紙くず	6			5								
木くず	20			10								
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不燃物												
ゴムくず												
金属くず	2											
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1800			350								
鋳さい												
がれき類	17			10								
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
合計	2425			430	0	0	0	0	0	0	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項											
	全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
燃え殻	569	50			569	50						
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類	11	5			9	4						
紙くず	6	5			5	5						
木くず	20	10			20	10						
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	2				2							
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1800	350			1794	340						
鉱さい												
がれき類	17	10			0	0						
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
合計	2425	430	0	0	2399	409	0	0	0	0	0	0



6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 現在実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後も実施計画はない

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 現在実施していない
②計画	(今後実施する予定の取組) 今後も実施計画はない

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) リサイクル率、ゼロエミ達成現場の目標値設定
②計画	(今後実施する予定の取組) リサイクル率、ゼロエミ達成現場の目標値設定

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(D06) 総合工事業
② 事業の規模	103546万円
③ 従業員数	340名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[施工発生] --&gt; B[保管]     B --&gt; C[収集運搬]     C --&gt; D[中間処理 (再生・縮減)]     D --&gt; E[最終処分]     D --&gt; F[再生品 (有価物)]             </pre>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定
② 計画	(今後実施する予定の取組) 新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値設定

4 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定
② 計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新築建築工事の混合廃棄物単位排出量の目標値設定

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 現在実施していない
② 計画	(今後実施する予定の取組) 今後も実施計画はない

管理体制図

